

本年も、よりいっそうの活躍と交流を。

明けましておめでとうございます。

モータースポーツを楽しむ者の集まりであります、わがCMSCも、はや30年以上の歴史を重ねてまいりましたが、特に昨年は充実と発展の年であったと思います。各支部におかれましても、主催大会などでは一般参加者も着実に増加しており、モータースポーツの普及に貢献しているのではないかと、ささやかながら自負しております。

新たにCMSC大阪が発足し、新しい仲間が増えたことは、大いに歓迎したいと思います。また、8月に福島で開催された夏の全国大会には、150名以上の会員が駆けつけ、ジムカーナやパーティに楽しいひとときを過ごして互いに交流を深めました。

さらに、クラブ員の各種競技活動では、上位入賞のうれしい知らせが1年を通じて続々と寄せられました。CMSCジャーナルでも随時ご紹介してまいりましたが、全日本ダートトライアル選手権では、CMSC勢がAIIIクラスで3勝と大活躍。ミラージュカップ・フレッシュマンシリーズ2年連続および東北シリーズ・フォーラスカップ3年連続チャンピオンなどをはじめ、輝かしい成績をおさめられました。秋には、待望の新型ランサー／ミラージュの試乗会が開かれましたが、その高い戦闘力を得て、今年はいっそう活躍される方も多いことでしょう。

CMSCも、いまや全国に16支部・600余名のメンバーを擁する大きな組織となりました。皆様におかれ

ましても、CMSCの会員であるというプライドを、大切にしていきたいと思います。

今年も、モータースポーツのいろいろな魅力を存分に楽しんでください。



(CMSC会長 外川一雄)

第7戦を制した赤羽選手の走り。



全日本ダートラ、CMSC勢が制覇!



第8戦優勝の榎田選手

全日本ダートラ第7戦10月13日 全日本ダートラ第8戦11月23日

全日本ダートラ第7戦が10月13日にテクニクス・タカタで開催され、AIIIクラスでCMSC勢が大活躍。1位～5位を独占するという快挙でした。特に、優勝したCMSC山形の赤羽選手は、シリーズ参戦4年目でうれしい初優勝となりました。

第7戦のコース設定は、2ヵ所の200mの直線と2つの鋭角コーナーが特長のハイスピード&テクニカルコース。赤羽選手は、直線での一気の加速と鋭角コーナー手前のブレーキングポイントが絶妙。固い路

面が露出した2ndトライで1本目を3秒も縮める快走を見せ、念願の1位を獲得しました。

そして迎えた最終戦のオールスター戦は、オープンしたばかりのトライアルゾーン・ニイガタで11月23日に開催。遠く日本海を望むコンパクトなコース設定ながら、中速の外周とテクニカルセクションが組み合わせられ、しかも全体が傾斜しており、たったひとつのミスも許されないシビアなレースとなりました。ここで第7戦の雪辱を果たしてAIIIクラス優勝を

手にしたのが、CMSC岐阜の榎田選手。今回は1本目トップながら2本目で逆転された展開とは逆に、1本目の11位から見事に2本目でベストタイムをたたき出しました。これで'91年の全日本ダートラ戦は全戦終了し、CMSC勢はAIIIクラス2位(群馬・荒井信介選手)、3位(山形・赤羽政幸選手)、4位(札幌・宝田芳浩選手)、6位(岐阜・榎田正文選手)、7位(山形・砂塚明男選手)、9位(大阪・杉本達也選手)、と実力を発揮今年も一層の活躍が期待されます。

赤羽政幸選手(CMSC山形)、念願の全日本制覇

CMSC山形
全日本ダートトライアル第7戦
10月13日 テクニクスステージ・タカタ

全日本選手権第7戦の舞台となった「テクニクスステージ・タカタ」は、比較的好きなコースです。このイベントでオールスター出場の権利も決定するので、気分が入っていました。コースコンディショ

ンは、前日の公開練習から素晴らしく、路面は2トライル終わってもほとんど荒れていませんでした。

1本目はうまく走れましたが、多少抑えすぎたようで、4位のタイムでした。2本目は自分のイメージよりアンダーステアで走ってしまいましたが、アクセルを抜くほどではないのが良かったのか、全日本シリーズ4年目で、念願の初優勝。ほんとうにうれしい結果となりました。もしかすると、正月にこ

のコースに練習に来たのも、よかったのかもしれませんが。帰りの広島から栃木までの道のりが、成績がいいと短く感じるようで楽でした。これからも、帰りが短く感じられるようにがんばりたいと思います。

(CMSC山形 赤羽政幸)



A III優勝の赤羽選手(中央)

大量エントリーで大成功

CMSC香川
'91CMSCダイヤスターラリー '91CMSCダイヤスタージムカーナ
8月31日・9月1日



CMSC香川のダイヤスターラリーも、復活してはや3年目となりました。昨年のトラブルを教訓として、今年はなんとしても成功せねばというプレッ

シャーと戦いながら、コース作りに走り回ること、丸2ヶ月。開催前の2週間は、夜はほとんど毎日、山の中にこもっていました。心配されていたエントリー一台数は、なんと68台の大量エントリー。涙ながらに(?)8台ほどご遠慮願ったほどでした。しかし、このフルエントリーが、またプレッシャーとなり、まったく気の抜けない2日間となりました。

競技の方は、1ステージ第1SSでコースをふさいでリタイヤした車両があり、Cクラスは、このSSがキャンセルとなりましたが、その後は順調に進行。午前4時過ぎ、ラリーは無事終了しました。

ジムカーナの方は、今回が初めての主催でした。使用したコースは、本部席から全コースが見渡せる

うえ、ダートと違って、スタックやコアアウト、転倒(たまにある)する可能性が非常に少なく、クラブ員はリラックスして楽しむことができたようです。96台のエントリーによる競技は、トラブルもなく、午後3時過ぎ表彰式を終わりました。また来年もラリーとジムカーナを1戦ずつ開催する予定です。お近くの支部の方、ぜひお気軽にご参加ください。

(CMSC香川 白井 修)



初級者に好評!秋の大運動会トライアル

CMSC帯広
秋の大運動会トライアル
10月20日

毎年恒例のジンギスカンパーティがメインとなった感のある、初級者中心で行われるダートトライア

ル。今年も、ダート初参加のエントラントのパフォーマンスで、楽しい一日となりました。

三菱賞は、ダート出場2回目という松島ギャランが、ベテランたちを引退に追いやる果敢な走りで、1位を獲得しました。残念なのは、写真係の福本選手が初めての好成績に浮かれすぎ、写真を1枚も撮

っていなかったこと。あの楽しいシーンの数々は、みんなの胸の中にずっととっておいてほしいです。

(CMSC帯広 青沼達也)

新ランサー/ミラージュに全開試乗会!

去る11月2日、オートランド千葉で開催された「新型車ラリー仕様車試乗会」に参加してきました。各支部の参加定員2名とのことですので、参加出来なかった皆さんに、新型ランサー/ミラージュのご報告をいたします。

用意されていた試乗車は、10月中旬に発売されたばかりのランサーRSとミラージュRS。どちらもフルラリー仕様車です。パーツ類は旧形からの流用ができないくらい、ほとんどが新開発されたものとのこと。特にパワートレイン系は、ギャランクラスのパワーにも耐えられる強度と容量を持っているとのことでした。

さて試乗の方ですが、約50名が試乗し、ほとんどの人が全開でコースを周回していました。パワーは圧倒的で、加速感、体感スピードは、冗費分のギャランに勝るとも劣らないもの。実パワーではギャラ

ンより劣るものの、車のサイズ、車重に対してのパワーとしては、あり余るものでした。ツイスティなコースなら、ギャランをしのぐタイムも可能だと思います。また耐久性も抜群で、全日本クラスを筆頭に多数のドライバーが全開走行を続けたにもかかわ

らず、ノートラブルでした。'92年のモータースポーツ界は、この2台が大暴れする予感がしました。

(CMSC福島 菅野 茂)



エンジンルームを見る目も真剣。



ミラージュ試乗の模様。